

## ■ 議題

---

今回の番組審議委員会は、11月17日（火）の『ヒッツ・サンセット・ヴォックス』内で放送したコーナー「Today's GUEST<sup>※1</sup>（約10分間）」と、12月11日（金）正午より放送した新番組『まちかどであいの玉手箱<sup>※2</sup>』を聴いて審議に入った。

### ※1 「Today's GUEST」

コーナー内容： 地元開催のイベントなどで、関係者にゲスト出演していただき、内容についてなど告知していただくコーナー。この日は、国分寺通り商店街連合会会長・ハラサイクルの原様（当局番組審議委員）にご出演いただき、11月20日（金）から始まる「商店街キャンペーン」について伺った。

### ※2 「まちかどであいの玉手箱」

提供： 笠原木材株式会社

案内人： 龍巳伸之助（舞踊家名 花柳琴臣）

番組内容： 「出会い」をテーマにした番組で、案内人の龍巳様が飛驒で出会った方々と共に、飛驒のことや伝統芸能と出会って感じたことなどを語っている。（放送：第2・第4金曜日 正午～/再放送：第2・第4日曜日 午後2時40分頃～）

## ■ 審議内容

---

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対する回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

大萱委員長： 只今、聴取した内容についてでもよいし、普段聴いている放送についてでもよいので、順次、意見をお願いしたい。

田中委員： 「Today's ゲスト」について「メルペイ」の話が出たが、そもそも「メルペイ」って何？と思った。知っている方は、もちろん知っているが、まったくスマートフォンを使ってない方だと「どうゆうものなのだろう」と疑問が湧くと思う。話の内容だが、金額やメルペイのポイント（還元率）のことを言っていて「お得感満載」なのは伝わったが、具体例を言っていない為わかりづらかった。例えば、原さん（原委員は自転車店を経営）の店で「自転車を購入して、得した分で他のものも購入できた」とか、事例を言ってもらえるとよかったと思う。全体的に数字の話ばかりでわかりづらく、最終的には、ナビゲーターの話をまとめる力が問われるのかと思った。

田中委員：「まちかどであいの玉手箱」については、ヒッツ FM は女性ナビゲーターが多い中で、番組に男性に声があるのは新鮮で良いと思った。1 回目の放送を聴いたわけだが、案内人の龍巳さんが、どのような方なのかわからなかったのも、本人についての紹介の後、進行しても良かったと思う。龍巳さんの年齢がいくつで、飛騨とのご縁はどのようなものなのか、活動内容など、龍巳さんのことがよくわかってから、ゲストの方との話が聴けると良かったと思う

大萱委員長：最初の「Today's ゲスト」について「メルペイ」は、確かに私も知っていたのでそのまま聴いていたが、知らない方が聴くと「メルペイって何って？」ことになる。しかし、このキャンペーンは続いているので、もう一度、原さんにゲスト出演して頂いて「途中経過」を報告してもらうのはどうか。または「メルペイ」に関しては、高山市商連（高山市商店街振興組合連合会）がやっているのだから、市商連の理事長にゲスト出演してもらおうとか、その辺りを調整して頂きたい。

高島委員：「Today's ゲスト」については、内容がよくわかったし、よいコーナーだと思った。

「まちかどであいの玉手箱」については、案内人の龍巳さんがどのような方かよくわからなかった。

大萱委員長：「まちかどであいの玉手箱」について、まとめて事前録音だったはずだから、2 回目あたりから自分のことについて紹介しているのか？

会社側：まだ自身の事は紹介していない。2 回目は「芸との出会い」について語っていたと思う。次回の録音の時は紹介するよう本人に伝える。

大萱委員長：もしかしたら、謎にしたい部分があるのかもしれない。

松川委員：「Today's ゲスト」について「メルペイ」は、私の勤めている銀行（松川委員は高山信用金庫職員）も協力してやっているが「メルペイって何から始まるのか」という話から「アプリをダウンロードしてから」とか順序があるから、わからない方には難しいことだと思った。また、ゲスト出演した原さんの話の内容がたくさんありすぎて、わかりづらかった。もう少し簡単にまとめて話をして頂くと良いかと思った。

松川委員：「まちかどであいの玉手箱」については、龍巳さんは飛騨でどのような活動をしていて、どのような展開をしていくことなど紹介していかないと「何？何？いきなり登場して！」という感じがした。「舞踊家」ということでは、地元には谷口裕和さんがいて、谷口さんについてはよく知っているが龍巳さんについてはわからないので、自身について、飛騨の番組に登場する経緯などの説明があると、親近感が湧いて良いと思った。勿論、企画自体はよいと思う。

大萱委員長：その辺りを伝えて欲しい。BGMは洒落た感じで、今までヒットFMにないような洗練されたBGMを使用している。

会社側：BGMは龍巳さん本人が選曲したものだ。

林委員：「Today's ゲスト」については、アピールポイントがよくわからなかった。いろいろな話が出た為、ぼやけてしまっている。「共通商品券」とか単語は聞こえてくるのだが、なんとなくその辺りが「このキャンペーンの目玉なのかな」というイメージしか湧かなかった。例えば「お得感」があるとか「どうしたら使いやすくなるのかな」といったような順序立てた話が聴けると「お得なのだ。使ってみたいな。」とリスナーは思えるのではないかと感じた。また「自由発言」みたいな感じで、楽しい雰囲気やりとりをしているが、結局、何が言いたいのかよくわからなかった。進行役のナビゲーターがフォローすれば、聴きやすくなるのではないかと思った。

「まちかどであいの玉手箱」については、女性ナビゲーターと比較する気はないが、男性の落ち着いた語り口調が聴きやすいと思った。また、BGMの雰囲気もあるかと思うが「和」な感じがしたので、放送がお昼の時間帯ということも丁度良いのかなという印象を受けた。しかし、自己紹介とゲスト紹介の仕方、いきなり「山田さん（第一回目のゲスト）お久しぶり」みたいな流れで「山田さんって誰なの？」って感じがしたので、初回の放送なら、簡単な自己紹介と「今回のゲストはこういった方です」みたいなものがあれば、より聴きやすい感じがした。全体としては聴きやすかったので「2回目以降も聴いてみたいな」と思った。

大萱委員長：確かに聴きやすいと思った。声のトーンもいい感じだったと思う。

石原委員：「Today's ゲスト」については、言葉数が多い割にはキャンペーンの「お得感」を伝えたかったと思うが、具体的にどうゆうことなのか？が端的に伝わらなかった。本来だと台本のようなものがあって、ゲストの方が自由にしゃべるとしても、ナビゲーターきっちりまとめてというか、わかりやすく説明することが必要だと思う。

「まちかどであいの玉手箱」については、他の審議委員と同じ意見になるが龍巳さんが誰なのか見当がつかないが、非常に聴きやすく、どのような方かわからないがスッと聴くことができた。そうゆう意味で、声のトーンとかBGMとかを含めていい感じで仕上がっていると思った。しかし、このような番組の初回放送では、冒頭、ご自身がどのような活動をしていて番組のテーマに対して「こうゆう関係性がある」というような説明があるものが多いのかなと思うので、この番組についても、このような流れがあるともっと入り込めるのかなと思った。全体的には感じが良い番組だなと思ったので、そのような流れがあれば、もっとガッツリ掴めるのかなと思った。

大萱委員長：審議委員の皆さん、大体同じ意見なので、また伝えて欲しいと思う。

「Today's ゲスト」だが「これは知っていることだろう」を前提にしゃべると伝わらないと思う。前回にも言ったと思うが「ゼロベース」で聴いている人に対して、どのように説明するかを工夫して欲しいと思う。しかし時間が決まっているので、その中で「どう伝えていくのか」を研究することが必要になるかと思う。

他に意見はないか？雪がまた降りそうな予報が出ている。この前テレビを観ていたら、交通事故は減ったけど死亡者は増えている。コロナの影響で車の数が減った分、スピードを出す車が増えた為、大きな事故が増えているみたいだ。高山市は雪が降ってそれだけスピードを出せないが、気をつけて欲しいと思う。

林委員：（林委員は高山警察署員）高山署管内では、死亡者の出る交通事故は件数自体減っている。しかし今日の午前中「高山警察署だより」（当局番組）に収録時に紹介したのだが、ご高齢の方がお亡くなりになる数が増えている。この冬場、コロナに関わらず高齢者を労わって欲しいと思う。家族とか地域とかで、高齢者が亡くなるのを減らして欲しいことを放送で呼び掛けて欲しい。

大萱委員長：その辺りも呼びかけて欲しいと思う。そういえば、宮トンネル（高山市内国道41号に最近完成したトンネル）も開通したよね。

石原委員：（石原委員は国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所の職員）無事に雪が降る前にいいタイミングで開通してよかった。職員一同、一安心している。

大萱委員長：また一之宮町や久々野町（宮トンネル開通区域）の住民にトンネルについての話を聞いてみたり、勿論、高山市民にも聞いてみて番組で取り上げて欲しいと思う。  
他に意見はないか？これからもいろいろな報道をしないとイケないと思うが、ヒッツ FM としてはどうしているのか？

会社側：今はコロナについてだと思うが、なるべく感情的にならないよう忠実に正確に放送するよう心掛けている。また、高山市長からコロナに対するコメントも放送している。しかし市長のコメントの中で「はしご酒をしないで」という表現があり、2次会からの飲食店を営んでいる市民の方から「言い方を変えて欲しい」との指摘の電話があった。さっそく差し替えて放送した。全市民に向けて放送のつもりが、立場の違う方もいるので全員に理解してもらうには難しいと思った。

松川委員：今回は飲食店を営んでいる方からの声だったが、コロナ過で飲食店以外にも、宿泊業、他業種からの声とか、市民からの声とか、番組で発信しているのか？またそのような番組があるのか？

会社側：番組で発信していないし、番組もやっていない。当局はコロナについての発信は持論になるが、市役所からの依頼で忠実に放送している。また、社則ではないが、なるべくそのような放送はしないようにしている。そのような発信や番組を放送することにより、感情的になるリスナーもいると思う。しかし「地域密着放送」をコンセプトにしている立場としては、ご指摘のような発信や番組は必要かなと思う。今の所、そこまで取り上げるつもりはない。

大萱委員長：その辺りは話し合っただけ欲しいと思うが、1つ間違えると「大炎上」になりかねない。

会社側：何が正解なのか、間違いなのかはわからないが、当局はどちらかというところ無難な対応をしている。

大萱委員長：現状としては、高山市からの情報を忠実に放送しているわけだね。

会社側：そうだ。

大萱委員長：昨日、高山市内の病院で病院関係者が12人目の感染者となって、ホームページでお詫びのコメントを紹介していたが、そのような情報も放送しないのか？

会社側：放送しない。依頼があれば考えるが、こちらから放送するつもりはない。

大萱委員長：いろいろ大変だが、使命感を持ってやって欲しいと思う。

会社側：貴重な意見を頂き感謝している。番組向上に繋げていきたいと思う。

---

■ 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

---

令和2年12月22日（火） 番組審議委員会の席上で説明

---

■ その他の参考事項

---

次回開催日 令和3年2月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）